

◆講義①〔図書館行政の動向〕◆（講師：工藤 松太郎）

質問 1

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、昨年 12 月から電子図書館サービスを実施しているが、電子図書館サービスの継続のための方策について、ご教示願いたい。

回答

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するなどして、公立図書館において電子書籍貸出サービスを行う地方公共団体も増えてきていると承知しています。今年度電子図書館・電子書籍の導入状況の実態把握をするとともに、取組事例等の周知や、活用できる交付金・補助金等があれば、適宜情報提供してまいりたいと考えています。

質問 2

図書館における障害者サービス施策について、今後の文科省の対策、施策の方向性についてご教示願いたい。

回答

障害のある様々な利用者に対応したサービスや取組などの現状把握、事例収集を通じ、適宜情報提供をするとともに、現在文部科学省で実施している子供の読書活動の推進に関する有識者会議においても多様な子供たちに読書環境を確保することは重要な視点として挙げられていますので、様々な機関との連携・協力の強化、ニーズを踏まえた図書館関係者の方々への研修等については、国の研修や委託事業を通じて引き続き取り組んでいきたいと考えています。

質問 3

社会教育施設における指定管理者制度の利用状況について、H23 年から図書館が公民館を上回った要因をご教示願いたい。

回答

公民館が図書館より指定管理者制度の活用状況が低い状況については、公民館の予算規模が図書館より小さい傾向にあり、指定管理者のメリットが見出しにくい点、地方の公民館では適当な指定管理者がいない点、役所等行政施設と複合化されている点などが要因として考えられます。

質問 4

司書の雇用について、非常勤の割合が増えている要因をご教示願いたい。

回答

司書の雇用形態については、設置者である各地方公共団体が実情に踏まえてご判断され

るものであり、地方公共団体のそれぞれの実情に応じてご判断されているものと考えます。

質問 5

国立国会図書館が絶版等資料を直接利用者に対して送信するサービスについて、公共図書館が全く関与せずに、利用者はサービスを受けられるのか。また、このサービスでの公共図書館の役割があれば、ご教示願いたい。

回答

国立国会図書館による絶版等資料の資料送信サービスについては、個人向けと図書館向けがありますので、図書館向けのサービスについて、詳しくは国立国会図書館のホームページにてご確認ください。またこれらのサービスについては、図書館利用者はじめ地域住民の方へ周知いただけますと幸いです。